

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	25224	授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		オンライン・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部（商学部・経済学部・人間社会学部） マーケティング学科・経営学科	藤原喜美子ゼミナール（日本文化論）

#### 概要説明

この研究演習の目的は、日本の民俗（生活文化）に注目し、日本の文化の特色を考えることにあります。日本の民俗（生活文化）は、文字に記されている史料以外に、文字に記されていない民俗資料からも明らかにすることができます。日常生活における体験談、家や地域に伝わる言い伝えや習慣（伝承）などが、この学問の大事な情報源になります。

私たちの日常生活は、地域ごとに特色が見られます。例えば、住居・衣服・食事・生業（農業・漁業・林業など）・村構成（子供会・青年団など）・人生儀礼（誕生・婚姻・葬送など）・年中行事（正月・節分・節供・七夕・お盆・月見など）・神祭・伝説・昔話・命名・民間信仰などが、研究のテーマになります。また、各地域の特色を知るために、文献だけではなく、フィールドワーク（聞き取り調査）による資料収集が必要となります。

そこで、研究演習では、日本の日常生活の中で伝承されてきた地域の情報（民俗）を収集・整理する方法を学びます。そして、得られた地域の特色を考察し、日本の文化の中に位置付ける方法を学びたいと思います。

そのために、口頭発表や質疑応答を通して、日本の民俗（生活文化）を理解する方法について、ゼミの皆さんとともに学んでいきたいと思います。研究演習では、宮本常一氏『ふるさとの生活』をテキストとして利用します。資料の作成や発表の練習、グループワークなどを行います。

#### 評価方法

・評価は、次の内容を勘案して行います。平常点（グループワークや意見交換への参加態度・小レポートの記述内容、60点）、個人発表のレポート（25点）、学期末レポート（15点）。

・原則、毎回、出欠調査を実施します。もし、体調不良などで欠席の場合は、メールで担当教員へ連絡してください。

#### 到達目標・成果物

〔到達目標〕 学生が、研究演習の内容を理解した上で、各自の日常生活の特色（地域性）に気が付き、興味のある事柄を見つけ、自らの言葉で説明できるようになる。

〔成果物〕 研究演習・研究演習・研究演習・卒業論文では、次の成果物の提出をお願いします。  
 ・研究演習：ゼミ時間内的小レポート、個人発表のレポート、学期末レポート  
 ・研究演習：ゼミ時間内的小レポート、個人発表のレポート、学期末レポート  
 ・研究演習：ゼミ時間内的小レポート、個人発表のレポート、卒業論文の要約版レポート4000字程度  
 ・卒業研究：各自の興味によって定めた日本の文化や歴史に関わるテーマの卒業論文

教員英字氏名	研究室
kiniko Fujiwara	研究棟 2711

#### 最終学歴

神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻 博士後期課程単位取得満期退学

#### 学位

修士（日本史学）

#### 主な研究活動・社会活動・研究業績

〔社会活動〕大阪狭山市文化財保護審議会委員(民俗)、播磨町文化財審議委員(民俗)

〔研究業績〕  
 著書『川を守る人びと 治水・河童・相撲』(御影史学研究会民俗学叢書17、岩田書院、2006年10月刊)  
 著書『川を守る人びと 治水・河童・相撲』(流通科学大学民俗学研究会・岩田書院、2024年3月刊)  
 論文『五條市近内町の高野参りと六斎念仏』(『考古学論攷』第30冊、奈良県立橿原考古学研究所、2007年3月刊)  
 論文『八正寺と鬼会式「鬼のお面箱取り」をめぐって』(『久里』20号、神戸女子民俗学会、2007年4月刊)  
 論文『蓮花寺の「山の神の鬼面」のもつ意味』(『山岳修験』第43号、日本山岳修験学会、2009年3月刊)  
 論文『竹崎島の修正会鬼祭 満潮に二匹の鬼が呼びあうこと』(『御影史学論集』第34号、御影史学研究会、2009年10月刊)  
 論文『愛知県国府宮の夜櫛追神事』(『流通科学大学教養センター紀要』第1号、流通科学大学教養センター、2011年5月刊)  
 論文『兵庫県加東市の朝光寺の鬼踊り 修正会の祈りから八十八夜の祭りへ』(『久里』29・30合併号、神戸女子民俗学会、2012年6月刊)  
 論文『修正会と鬼 播磨の八栗寺の修正会と「中右記」兵範記』(『鶴崎裕雄編「地域文化の歴史を往く 古代・中世から近世へ」』和泉書院、2102年8月刊)  
 論文『兵庫県加西市住吉神社に伝わる踏合せの神事』(『久里』32号、神戸女子民俗学会、2013年6月刊)  
 論文『播磨の鹿林寺の修正会と鬼追い 謡曲「吉道」との関わり』(『御影史学論集』38号、御影史学研究会、2013年10月刊)  
 論文『香椎宮の瑞石神社と神功皇后と湊』(『久里』33号、神戸女子民俗学会、2014年1月刊)  
 ○論文『相撲節会の占手と童相撲』(『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊)  
 ○論文『神社の祭りにおける相撲と子ども 神の相撲に関わる子どもの存在』(『日本文化論と民俗学』創刊号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2017年8月刊)  
 ○論文『相撲節会の占手と童相撲』(『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊)

#### 趣味・特技

各地域へ出かけて行き、歴史や文化に関わるものを探し、新たな発見をすることが楽しみです。

#### 所属

人間社会学部 観光学科

#### 所属学会

神戸女子民俗学会、御影史学研究会、日本山岳修験学会、日本民俗学会、まつり同好会、藝能史研究会、文化人類学会

#### 専門分野

日本民俗学

#### 担当科目

日本文化論、地誌学、日本史A、日本史B、神戸の景観と歴史、教養特講（観光学へのいざない）、教養特講（地理・歴史へのいざない）、教養特講（読書力）、教養特講（世界の中の日本）、基礎知識（歴史）、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

#### 備考

研究演習の選択は、自分の進む道（生き方）を大きく変えます。

私は自身は大学生の時、「民俗学（生活文化史）」に偶然、出会いました。民俗学では、普段私たちが「当たり前」に思っている日常生活すべてが、研究対象になりました。そのことに大変驚き、親しみを覚え、私は民俗学のゼミを選択しました。

ゼミの時間、「自分の好きなテーマを見つけることができた、一生楽しめる」と恩師はおっしゃいました。そして、ゼミを通して、研究の楽しさや喜びを、次々と教えてくれました。

こうした中で、私の選んだテーマは、「兵庫県東部の鬼の祭り」でした。これは自分の住む地域に継承されてきた寺院の正月の行事でした。研究テーマは、私のすぐ

#### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。日本民俗学に関わる地域の現地調査等の機会をいただいています。その場で学んだ現地調査等の経験をもとに、研究演習の取り組み（調査報告書や卒業論文の作成）の中で、現地調査の説明内容として活用させていただいています。

#### 主な卒業論文のタイトル

〔2025年度卒業論文〕  
 ・三井高利が確立した画期的なビジネスモデル 400年前の最先端の経営  
 ・漆器と装飾技法  
 ・神戸と造船の関わりと歴史 神戸が生み出した艦艇  
 ・太山寺の練供養の意味と目的 各地の練供養との比較

〔2024年度卒業論文〕  
 ・年中行事と食事のつながり  
 ・日常に潜む阿波踊り 私が見る阿波踊りの魅力  
 ・兵庫運河を繋ぐ  
 ・日本の食とお米の歴史  
 ・井伊直政と彦根城  
 ・奇跡の義経伝説  
 ・本能寺の夏の真実  
 ・姫路城の歴史と特徴  
 ・犬と人間の歴史  
 ・化粧の歴史と化粧地蔵  
 ・山口県と歴史と魅力  
 ・淡路島と二神

#### 教員からの要望

・新たな興味を見つけていただくために、ゼミの仲間とともに現地見学（フィールドワーク）を行うことがありますので、その時は必ず参加してください。  
 ・日常生活（民俗）に対して、大いに興味を持ってくださることを期待します。日常生活には、日本の文化を語る多くの資料が満ちあふれています。各自の身近な事柄に対して、何事にも強い関心や不思議に思う気持ちを持ってください。

#### 選考方法

・研究演習（ゼミ）の「個別ゼミ訪問（個別ガイダンス）」は、必ず参加してください。  
 「個別ゼミ訪問」の期間に、ゼミの詳細や申込書の内容について説明しますので、話を聞いてください。  
 ・選考は、研究演習（ゼミ）希望申込書（文章量・記述の内容）、選考のための面接（志望動機・関心のあるテーマ）によって、総合的に判断します。